



## 「コエンザイム Q10 食品の JHFA 規格基準」 学術委員会で審議

10月中旬には公示予定、併せて販売後の調査も実施の方向

9月25日(月)に学術委員会を開催し、「コエンザイム Q10 食品」の JHFA 規格基準案について審議を行いました。その結果、規格基準(案)は大方了承されましたが、資料内容の修正・再確認が必要だとされ、結論は持ちこされました。

これにより、コエンザイム Q10 食品専門部会を中心に対応してきました「コエンザイム Q10 食品」に関する規格基準は、原案どおり公示する見通しとなりました。公示は、学術委員会による資料の確認が終了する10月中旬頃になる予定です。

尚、厚生労働省医薬食品局食品安全部新開発食品保健対策室室長通知「コエンザイム Q10 を含む食品の取り扱いについて」(食安新発第 0823001 号、平成 18 年 8 月 23 日付、協会ニュース 9 月号で同封済み)により、1日摂取目安量が

30mg を超える商品は、企業責任において健康被害状況の把握を行うなど安全性確保を図るよう指導されることになったのを受け、販売後の調査により積極的に健康被害の状況を把握し、コエンザイム Q10 の安全性確認を行うことになりました。

具体的な調査方法等については、10月中旬にホームページ等に掲載すると共に、10月23日(月)〈大阪会場〉及び11月2日(木)〈東京会場〉で開催する講習会でお知らせすることとしています。

調査計画案の概要は以下のとおりです。

調査対象企業：コエンザイム Q10 含有食品の販売者  
(会員・非会員は問わない)

調査対象品：1日摂取目安量が30mgを超える商品

調査形式：アンケート方式

(ハガキ方式、メールマガジン方式など)

調査期間：数年間

目標例数：1商品につき100例程度

(アンケート回収数として)

集計・解析・評価：当協会及び当協会「販売後調査評価委員会(仮称)」で行う。



学術委員会

### CONTENTS

- 「コエンザイム Q10 食品の JHFA 規格基準」学術委員会で審議  
10月中旬には公示予定、併せて販売後の調査も実施の方向 ..... 1
- 「コエンザイム Q10 と GMP 講習会」開催のご案内 ..... 2
- 学術論文セミナー「ヒト試験・統計解析について」開催 ..... 2
- 平成 18 年度「交流会」 ..... 2
- 食品保健指導士の活動支援について ..... 3
- ナチュラル EXPO 2006 へ出展 ..... 3

#### 各部の活動状況

##### 健康食品部

- 適否審査委員会 ..... 4
- JHFA マーク表示 新規許可製品 ..... 4

##### 特定保健用食品部

- 模擬ヒアリングを開催 ..... 4
- 部会活動状況 ..... 4
- 「疲労回復用特定保健用食品に関する一考察」 ..... 5

##### 栄養食品部

- メディカルフーズ(仮称)研究会開催 ..... 5
- ・当協会 林 裕造理事長「健康食品」の安全性評価と食経験について講演 ..... 3
- ・学術誌「健康・栄養食品研究」への論文投稿について ..... 3
- ・特定保健用食品表示許可 ..... 5
- ・特定保健用食品表示許可品目などに関わる審査状況 ..... 5
- ・健康・栄養食品 CRO 連絡会役員会・臨時総会開催 ..... 5
- ・厚生労働省 医薬食品局食品安全部基準審査課  
新開発食品保健対策室の人事異動 ..... 6
- ・その他医薬食品局の人事異動 ..... 6
- ・協会職員の人事異動 ..... 6
- ・入会・変更など ..... 6
- ・会員名簿記載事項の変更届について ..... 6
- ・会員数 ..... 6
- ・「食品保健指導士」の養成講習会 第 21 期のご案内 ..... 6